

学校運営協議会だより

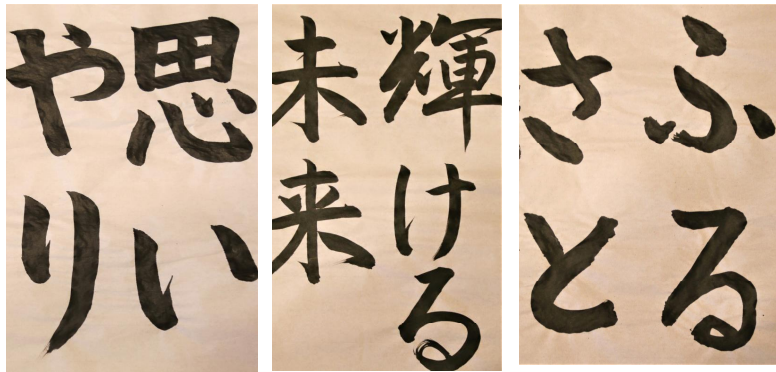
文責 CSコーディネーター中村

回

覧

1年間学校運営協議会だよりをご愛読いただき誠にありがとうございました。今年度学校運営協議会だより最終号では、町内児童生徒作品展の作品、「おもいやり」の心を育む小学校1年生道德の授業、中学校道德教材「エルトゥール号事件」を紹介したいと思います。

町内児童生徒作品展 児童・生徒作品を昨年12/2まで湧学館で展示



ふるさと京極の未来を思い、語れる子

上記は、令和6年度京極町教育の目指す子どもの像です。ここでは、作品展の中から3点を紹介させていただきました。これからも学校運営協議会は、こども達の笑顔のために尽力していきたいと思っています。

小学校1年生道德の授業を紹介します

12月4日（水）小学校1年生の道德の授業を参観させていただきました。

教材：「はしの うえの おおかみ」

めあて：「まわりの人と生活する時に大切なこと」について考えてみよう



（問題）

- ・お話を読んで、いいな よくないなと思ったのはどのようなことですか？
- ・おおかみが、くまと おなじことをしたのは どうしてでしょう？
- ・まわりのひとと せいかつするときに、たいせつな ことは なんでしょう？

やまの中 一本橋での出来事

- 1 ・うさぎと出会う狼 黒板イラスト①

俺様が先に渡るんだ



- 2 ・いじわるがおもしろい狼

俺様が先に渡るんだ



- 3 ・狼に出会う熊 黒板イラスト②

「こうすればいいのさ」

狼を抱き上げ後ろに

そっと下ろす熊



- 4 ・熊の後ろ姿をいつまでも見ている狼

黒板イラスト③

- 5 ・つぎの日 うさぎと出会う狼

やさしく「うさぎさんこうすればいいんだよ。」うさぎを抱き上げ後ろにそっと下ろす狼

①②③は黒板のイラスト

～小学校1年生 まわりの人と生活する時に大切なことを考えました。～

おもいやりを持った 社会の実現へ



ロシアによるウクライナ軍事侵攻が2022年に開始され、すでに3年が経過しました。一刻も早い和平を願う中、今年2月28日アメリカ大統領とウクライナ大統領の会談が行われましたが協議は決裂しました。

こうした世界情勢の中、これからの国際社会を生きる子ども達にとって、豊かな心を育む道徳教育が重要であると感じます。ここでは、道徳の教材「エルトゥール号事件」を紹介したいと思います。

1890年9月16日トルコの使節団が日本へ来航した時の話で、この船が紀伊半島沖で台風に遭遇し587名の乗組員が死亡するという惨事が起きてしまいます。その時、付近住人が献身的な救助を行い69名の乗組員を救出します。生存者は、貴重な米や食料、中には正月用のサツマイモや鶏の提供といった村民の善意を受け体力を回復した後、「ありがとう」の言葉を残し日本の船でトルコに送り届けられた、というものです。

次に「トルコ航空による48時間邦人救出劇」を紹介したいと思います。「エルトゥール号事件」から約100年後勃発したイラン、イラク戦争の際、テヘランにいた在留邦人250名の即日救出

を日本政府が他国に求めました。

しかし各国も自国民の救出に手いっぱいである中、トルコ政府が危険を顧みずトルコ航空機2機を派遣し、215人の在留邦人の救出を成功させました。救出された邦人は安堵の涙を流しながら「ありがとう」と感謝を言葉で伝えると同時になぜ私たちを助けてくれたのかたずねました。すると乗員が微笑みながら「エルトゥール号の恩返しです」と答えたそうです。この話は「海難1890」という映画に描かれ、2015年日本でも公開されています。



トルコ機で脱出

今、私たちが世界のどこへ行っても信頼されているのは、こうした日本人の生き方に世界が共感してくれているからだと考えます。私たち一人ひとりの生き方が積み重ね合ってそれが歴史となり人と人、国と国とを繋げていると思います。

来年度使用する中学校一年生「特別の教科道徳」の教科書には、「エルトゥール号の遭難」が、教材として紹介されています。

豊かな心を育む道徳教育が各校で推進されるよう、学校運営協議会は道徳の授業に地域人材を派遣するなど、積極的な取り組みを進めることが期待されています。

今年度最後の学校運営協議会だよりの発行となりました。ここで、1年間学校運営協議会の委員としてご尽力をいただきました委員の皆様へ感謝を申し上げます。また、学校運営協議会にご支援・ご協力いただきました地域の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。